



大分合同新聞
2023年5月20日(土)
朝刊 1面

大分市の4駅無人に

鶴崎駅は常駐時間減

7月1日から

JR九州が進める大分市内の駅無人化計画で、同社は19日、日豊線の高城、大在、坂ノ市と豊肥線の中判田の計4駅を7月1日から駅員不在にすると明らかにした。日豊線の鶴崎駅は駅員がいる時間を7月のみに短縮する。経営効率化のため、乗降客の多いエリアでも人員を削減する姿勢が改めて浮き彫りになった。駅利用者からは「利便性の低下や安全面を懸念する声が上がった。」

JR駅 無人化 問題

JR九州は2018年に市内の8駅を一旦に無人化する方針を発表した。利用



2017年8月31日	大分市内8駅で検討していることが明らかに
18年1月26日	青柳俊彦社長(当時)が3月からの実施を表明
3月17日	日豊線の牧駅から駅員がいなくなる
12月1日	豊肥線の大分大学前駅、敷戸駅も続く
20年9月23日	計画の撤回を主張する大分市内の障害者が提訴
22年4月1日	久大線天ヶ瀬(日田市)、日豊線陽谷、大神(日出町)が簡易委託駅に
5月9日	日豊線東別府(別府市)が簡易委託駅に
23年5月19日	7月から大分市内4駅の駅員が不在になると発表

JR九州の駅無人化を巡る大分県内の主な動き

者らの反発もあり段階的に進め、同年11月までに日豊線の牧、豊肥線の敷戸、大分大学前の3駅で実施した。残る5駅は開始時期を未定としていた。JR九州大分支社によると、5駅の1日平均の乗車客数は600〜1789人



7月から無人駅になる大分市のJR大在駅=19日午後、大分市大在中央

運営できている。5駅はエレベーターやスロープを設け、バリアフリーの環境も整った」と説明した。

無人化する駅は窓口を閉鎖する。通字のため佐伯市内から大在駅まで電車で乗

7月以降の配置時間は未

スマートフォンステーション(SSS) 駅のホームや改札口に設置した監視カメラで利用者の安全を確認し、乗り越し積荷や問い合わせはインターホンで対応するシステム。大分駅構内に係員がいるセンサーがあり、トラブル発生時はスタッフを派遣する。乗

定。通勤で毎日利用する大分市鶴崎の5代女性会社員は「ホームで具合が悪くなった人を見つけて駅員を呼んだことがある。もしもの時にどうなるのか」と心配する。

駅無人化計画を巡っては、移動の自由を侵害されたとして障害のある人たちが損害賠償を求める訴訟を起している。懸念の声を対し、同社は「真摯に耳を傾け、不便な点は改善したい」と述べた。

佐藤樹一郎大分県知事は「不安を感じる県民も多い。JR九州には引き続き丁寧な対応を求める」とのコメントを出した。(大塩信、松尾祐哉)

JR九州によると、大分県内は日豊久大本線の3路線に計8駅があるうち無人駅は現在47カ所。昨年3月には日豊線の大神(日出町、陽谷(同)、東別府(別府市)と久大線の日ヶ瀬(日田市)が駅員が不在となり、いずれも各市町が地元団体などに業務委託して人員を置いた。

〔問①〕無人化されることで、人々にとって困ることは何か考えてみよう。

〔問②〕JR九州の対策に異論はありますか？